

令和5年度

従業員の技術や
自らの技術を
高めたい方へ

能力開発 セミナーのごあんない

従業員の人材育成や
自身のスキルアップにも
おすすめ

新型コロナウイルス感染拡大防止対策

受講の際、マスク着用をお願いしております。

セミナー会場では、以下の対策を徹底して行っております。

1. アルコール消毒液の設置
 2. 定期的な会場内換気、間隔の空いた席配置
 3. 担当講師の健康チェック
- 安心してお申し込みください！



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山口支部
山口職業能力開発促進センター
ポリテクセンター山口

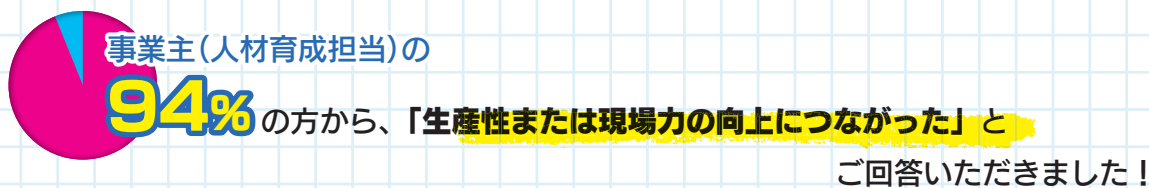
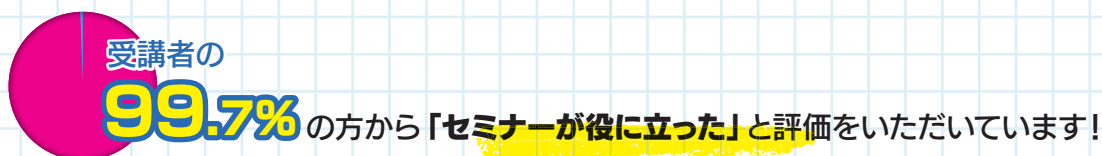


ハートレーニング
— 急がば学べ —

「能力開発セミナー」って？

- ◆ 企業に在職中の方を対象とした、**スキルアップ**を目的とする**短期間**（2～4日間）の**技術研修**です。
- ◆ カリキュラムは、「現場力強化」「後継者の育成・技能継承」「生産性向上」など、ものづくり企業の現場が抱える様々な**課題**や**ニーズ**に対応した内容となっています。
- ◆ 公的職業訓練ですので、良心的な価格で**質の高い講義**や**技能実習**が受けられます。
- ◆ 一定の条件を満たすと、助成金の対象となるため、会社の人材育成計画に組み込みやすくなります。

能力開発セミナー満足度調査（令和3年度）



専門的知識や
技能・技術を



ポリテクセンター山口は
目的に合わせた従業員育成
スキルアップをお手伝いします！



目次



セミナーコース一覧	3
------------------------	---

セミナーコース内容

金属系	4～6
機械系	7～10
電気・電子系	11～16
居住系	17～22

その他のご案内

受講企業様に聞く！利用してどうでしたか？	23
オーダーメイドセミナーのご案内	24
さらなる高度なスキルアップのご案内	25
生産性向上支援訓練のご案内	26
各種サービスのご案内	27
(助成金や施設・設備利用など)	

お申込に関するご案内

申込方法	28
申込・受講Q & A	29
受講申込書	30
アクセスマップ	31

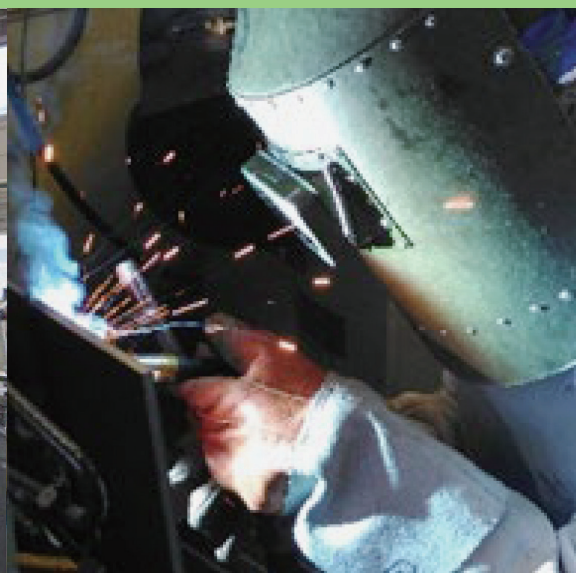
令和5年度セミナーコース一覧

系	コース番号	コース名	日程	受講料	頁
金属系	9M101	各種の溶接施工技術	4/22 (土)、23 (日)	13,000 円	5
	9M102	各種の溶接施工技術	5/20 (土)、21 (日)	13,000 円	5
	9M103	各種の溶接施工技術	7/29 (土)、30 (日)	13,000 円	5
	9M104	各種の溶接施工技術	8/26 (土)、27 (日)	13,000 円	5
	9M105	各種の溶接施工技術	10/28 (土)、29 (日)	13,000 円	5
	9M106	各種の溶接施工技術	11/25 (土)、26 (日)	13,000 円	5
	9M107	各種の溶接施工技術	2/3 (土)、4 (日)	13,000 円	5
	9M108	半自動アーク溶接技能クリニック	7/26 (水)、27 (木)	12,000 円	6
	9M109	半自動アーク溶接技能クリニック	11/29 (水)、30 (木)	12,000 円	6
	9M110	TIG 溶接技能クリニック	5/24 (水)、25 (木)	12,000 円	6
	9M111	TIG 溶接技能クリニック	10/25 (水)、26 (木)	12,000 円	6
機械系	9M201	〈最新 JIS による〉実践機械製図	10/16 (月)、17 (火)、18 (水)	11,500 円	7
	9M202	2次元 CAD による機械製図技術	10/23 (月)、24 (火)	8,000 円	7
	9M203	旋盤加工技術	5/24 (水)、25 (木)、26 (金)	16,500 円	8
	9M204	NC 旋盤プログラミング技術	10/12 (木)、13 (金)	11,500 円	8
	9M205	マシニングセンタプログラミング技術	10/26 (木)、27 (金)	11,500 円	9
	9M206	フライス盤加工技術	9/27 (水)、28 (木)、29 (金)	21,500 円	9
	9M207	生産現場の機械保全技術	10/12 (木)、13 (金)	7,500 円	10
電気・電子系	9D301	現場のための電気保全技術	4/18 (火)、19 (水)	8,500 円	12
	9D302	現場のための電気保全技術	5/23 (火)、24 (水)	8,500 円	12
	9D303	有接点シーケンス制御の実践技術	5/16 (火)、17 (水)	8,500 円	12
	9D304	有接点シーケンス制御の実践技術	6/13 (火)、14 (水)	8,500 円	12
	9D305	電動機制御のための有接点シーケンス制御	7/5 (水)、6 (木)	10,000 円	13
	9D306	電動機制御のための有接点シーケンス制御	8/8 (火)、9 (水)	10,000 円	13
	9D307	PLC 制御の回路技術 (FX 編)	9/26 (火)、27 (水)	8,500 円	13
	9D308	PLC 制御の回路技術 (FX 編)	11/14 (火)、15 (水)	8,500 円	13
	9D309	PLC 制御の回路技術 (iQ-R 編) NEW	10/31 (火)、11/1 (水)	8,500 円	14
	9D310	PLC によるタッチパネル活用技術	11/7 (火)、8 (水)	8,500 円	14
	9D311	PLC によるインバータ制御技術	11/28 (火)、29 (水)	10,500 円	15
	9D312	PLC による FA ネットワーク構築技術 NEW	12/5 (火)、6 (水)	8,500 円	15
	9D313	FA センサ活用技術 NEW	1/16 (火)、17 (水)	8,500 円	16
居住系	9H401	〈建築基準法編〉 木造住宅における壁量計算技術	6/7 (水)、8 (木)	6,500 円	18
	9H402	〈住宅性能表示制度 構造の安定編〉 木造住宅の構造安定性能設計技術	7/5 (水)、6 (木)	6,500 円	18
	9H403	〈最新省エネ基準に対応〉 省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画実践技術	9/13 (水)、14 (木)	7,000 円	19
	9H404	〈JWCAD による〉 実践建築設計 2次元 CAD 技術 (住宅図面作成編)	4/26 (水)、27 (木)	7,500 円	19
	9H405	〈JWCAD による〉 実践建築設計 2次元 CAD 技術 (建設図面作成編)	10/4 (水)、5 (木)	7,500 円	20
	9H406	〈AutoCAD による〉 NEW 実践建築設計 2次元 CAD 技術 (建設図面作成編)	11/8 (水)、9 (木)	7,500 円	20
	9H407	〈マイホームデザイナーによる〉 実践建築設計 3次元 CAD 技術 (住宅デザイン編)	7/26 (水)、27 (木)	7,500 円	21
	9H408	〈ARCHITREND による〉 実践建築設計 3次元 CAD 技術 (住宅プランニング編)	5/24 (水)、25 (木)	10,500 円	21
	9H409	〈ARCHITREND による〉 実践建築設計 3次元 CAD 技術 (申請図面作成編)	8/2 (水)、3 (木)	10,500 円	22
	9H410	〈BIM 建築設計システム GLOBE による〉 BIM を用いた建築生産設計技術	10/25 (水)、26 (木)	10,500 円	22

金属系・機械系

「製図を正しく読めるようになりたい・なってほしい」
 「〈何となく〉ではなく〈理論的〉に知識を習得したい」
 「自社で機械保全ができたらいいのに…」

設計・切削加工・溶接加工・保全まで現場に必要な技術を 知る・身につける・磨く



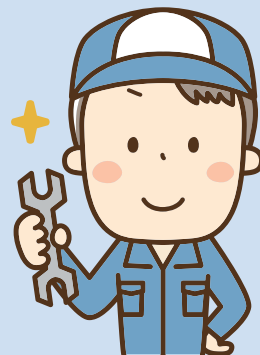
金属系

機械系

金属系・機械系のセミナー体系図

おすすめ受講セット

	知 る	身につける	磨 く
溶接加工		各種の溶接施工技術 5 ページ	
		半自動アーク溶接技能クリニック 6 ページ	
		TIG溶接技能クリニック 6 ページ	
製図		〈最新JISによる〉実践機械製図 7 ページ	
		2次元 CAD による機械製図技術 7 ページ	
機械加工		旋盤加工技術 8 ページ	
		NC 旋盤プログラミング技術 8 ページ	
		マシニングセンタプログラミング技術 9 ページ	
		フライス盤加工技術 9 ページ	
機械保全		生産現場の機械保全技術 10 ページ	



各種の溶接施工技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9M101	4月22日(土)、23日(日)	9:30~16:30	12H	10名	13,000円
9M102	5月20日(土)、21日(日)				
9M103	7月29日(土)、30日(日)				
9M104	8月26日(土)、27日(日)				
9M105	10月28日(土)、29日(日)				
9M106	11月25日(土)、26日(日)				
9M107	2月 3日(土)、 4日(日)				

概要 溶接作業（被覆アーク溶接、半自動溶接、TIG溶接）による各種継手の溶接実習、組み合わせ（TIG溶接+被覆アーク溶接等）溶接実習を通して、技能高度化に向けた適正な溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。

コース内容

1. 各種溶接方法と溶接機器の取り扱い、周辺機器、溶接施工法（写真は一例です。）



TIG溶接（ステンレス鋼）



被覆アーク溶接（軟鋼）



半自動アーク溶接（軟鋼）

2. 溶接材料（被覆アーク溶接棒、溶接ワイヤ、シールドガス）
 3. 溶接実習
 4. 溶接部の評価（外観試験、曲げ試験）
 5. 溶接欠陥とその対策



担当者の声 2日間の練習メニューは事前にご確認させていただきます。可能な限りご希望のものを準備致します。

使用機器 各種溶接装置一式、器工具一式、溶接継手曲げ試験機

持参品 溶接用保護具一式（貸与可能です）、安全靴、作業服、作業帽またはヘルメット、筆記用具

受講者・事業主の声

「機械の仕組みなどから学ぶことができた。」 「仕事に直接役立つ技術、知識が深まった。」
 「講師の方の説明もわかりやすく、お手本も大変参考になりました。」
 「他の従業員への品質・出来栄への伝承につながっている。」



半自動アーク溶接クリニック

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9M108	7月26日(水)、27日(木)	9:30~16:30	12H	10名	12,000円
9M109	11月29日(水)、30日(木)				
概要	半自動アーク溶接の技能向上のために、溶接機器の取扱方法と溶接材料についての理解を深めます。各課題実習を通して実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。				
コース内容	<p>1. 半自動アーク溶接法の概要、半自動溶接機の取扱方法 (写真は一例です。)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">半自動アーク溶接装置 溶接ワイヤ、使用機器 半自動アーク溶接作業</p> <p>2. 溶接材料 (溶接ワイヤ、シールドガス) 3. 半自動アーク溶接施工方法 4. 各種姿勢の溶接実習 5. 溶接部の評価 (外観試験、曲げ試験) 6. 溶接欠陥とその対策</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div> <p>担当者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溶接のスキルアップは個々のレベルに応じてサポートします。 ・座学付コースですが、実技練習のみをご希望の場合はご相談ください。 ・別日程でオーダーメイド開催希望の場合もご相談下さい。 </div> </div>				
使用機器	半自動アーク溶接装置一式、器具一式、溶接継手曲げ試験機	持参品	溶接用保護具一式 (貸与可能です)、安全靴、作業服、作業帽またはヘルメット、筆記用具		

受講者・
事業主の声

「一から色々学ぶことができた。」
 「脚長の計算方法などを学べた。」


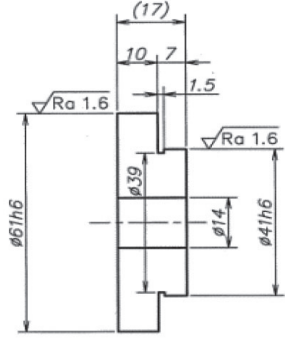
TIG溶接技能クリニック

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9M110	5月24日(水)、25日(木)	9:30~16:30	12H	10名	12,000円
9M111	10月25日(水)、26日(木)				
概要	TIG溶接の技能向上のために、溶接機器の取扱方法、ステンレス鋼と溶接材料についての理解を深めます。各課題実習を通して実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。				
コース内容	<p>1. TIG溶接法の概要、TIG溶接機の取扱方法 (写真は一例です。)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">TIG溶接装置 使用機器 TIG溶接 (ステンレス鋼)</p> <p>2. ステンレス鋼の種類、溶接材料 (溶加棒、シールドガス) 3. TIG溶接施工方法 4. 溶接実習 5. 溶接部の評価 (外観試験、曲げ試験) 6. 溶接欠陥とその対策</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div> <p>担当者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溶接のスキルアップは個々のレベルに応じてサポートします。 ・座学付コースですが、実技練習のみをご希望の場合はご相談ください。 ・別日程でオーダーメイド開催希望の場合もご相談下さい。 </div> </div>				
使用機器	TIG溶接装置一式、器具一式、溶接継手曲げ試験機	持参品	溶接用保護具一式 (貸与可能です)、安全靴、作業服、作業帽またはヘルメット、筆記用具		

受講者・
事業主の声

「アルミ専門で溶接をしてきたが、鉄の溶接について技術を学ぶことができた。」

〈最新JISによる〉実践機械製図

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9M201	10月16日(月)、17日(火)、18日(水)	9:30~16:30	18H	10名	11,500円
概要	設計現場で求められる機械製図の図面に関する必要な知識、技能を実習を通して習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 製図規格 2. 各種投影法 3. 加工を考慮した効果的寸法記入法 4. 機能上の要求に基づく公差記入法、製品性能と表面性状 5. 組立図及び部品図の課題実習 		  <p>[製図例]</p>		
使用機器		持参品	筆記用具		

受講者・
事業主の声

「図面理解により顧客の要望に適切に対応できるようになる。」
 「最近の情報や技術的な事柄もあつたりするので、毎回でなくとも数年に一回ぐらいは受講した方がよいと思いました。」

2次元CADによる機械製図技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9M202	10月23日(月)、24日(火)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
概要	2次元CADを活用して、製図効率を向上させる図面作成のノウハウ及びデータ管理方法について習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作図に関する機能 2. 編集に関する機能 3. データ管理機能など 4. 寸法記入、公差、幾何公差 5. 部品図、組立図 6. 実践課題 		 <p>[2次元CAD製図モデル例]</p>		
使用機器	AutoCAD 2020	持参品	筆記用具		

受講者・
事業主の声

「CADが実設計でどのように使用されているか分かった。」
 「以前は何となく扱っていたから、知識として理解できてよかった。」
 「職務でCADを扱うので、機能の使い方に関する知識の向上につながった。」

旋盤加工技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9M203	5月24日(水)、25日(木)、26日(金)	9:30~16:30	18H	8名	16,500円
概要	汎用旋盤作業に必要な加工方法の検討や段取り等、課題実習を通して技能・技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 普通旋盤作業概要 2. 切削工具と加工工程の検討 3. 課題加工実習（外径加工、内径加工など） 4. 確認・評価 				
使用機器	普通旋盤（滝澤鉄工所）、各種測定機器		持参品	作業服、安全靴、保護めがね、作業帽	

[加工例]

受講者・事業主の声

「旋盤の仕組みであったり、加工名称（計算式等）を学べた。」
 「専門知識、技術が大変参考になりました。」
 「質問したことを的確に回答して下さったのでわかりやすかった。」
 「仕事で活用する基礎的な知識、技能を深めることができた。」

NC旋盤プログラミング技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9M204	10月12日(木)、13日(金)	9:30~16:30	12H	8名	11,500円
概要	工程改善に向けたプログラミング課題実習と加工・検証実習を通してNC旋盤作業に関する技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. NC工作機械概要 2. NCプログラミング 3. 補正関連 4. プログラミング課題実習 5. 加工の検証と評価 				
使用機器	TAKISAWA TNC-2000、各種測定機器		持参品	作業服、安全靴、保護めがね、作業帽	

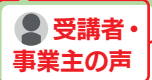
[加工イメージ]

受講者・事業主の声

「NC旋盤をすでに仕事で扱っていたが、専門的な知識が不足していたため今回の講習で理解力が高まったと思う。」
 「全く知識のなかったNC旋盤プログラミングの組み方を知ることができた。」
 「プログラムを作成する時の方法をより理解することができた。」

マシニングセンタプログラミング技術

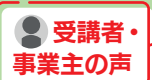
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9M205	10月26日(木)、27日(金)	9:30~16:30	12H	8名	11,500円
概要	マシニングセンタのプログラミング課題実習を通して、要求される条件を満たすためのプログラム作成方法などを習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. NC工作機械概要 2. NCプログラミング知識 3. 補正関連 4. サブプログラミング 5. プログラミング課題実習 6. 加工の検証と評価 		 <p>[加工イメージ]</p>		
使用機器	Mazak FJV-200 II、各種測定機器	持参品	作業服、安全靴、保護めがね、作業帽		



「固定プログラムを出来るだけ使えば、時間短縮になることを学べた。」
 「今まで触れてこなかった知識を知れた。」

フライス盤加工技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9M206	9月27日(水)、28日(木)、29日(金)	9:30~16:30	18H	6名	21,500円
概要	汎用機械加工の生産性の向上をめざして、効率化、最適化(改善)に向けた加工実習を通して、条件設定や加工方法の検討や段取り等、実践的なフライス盤作業に関する技能・技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 概要 2. フライス加工における切削理論 3. 正面フライス加工技術実習 4. エンドミル加工技術実習 5. 総合課題実習 				
使用機器	フライス盤(エツキ)、各種測定機器	持参品	筆記用具、作業服、安全靴、保護メガネ、作業帽またはヘルメット		



「材質によって変える工具の回転数の出し方を理解できた。」
 「フライス盤に関してより深く学べた。」

生産現場の機械保全技術

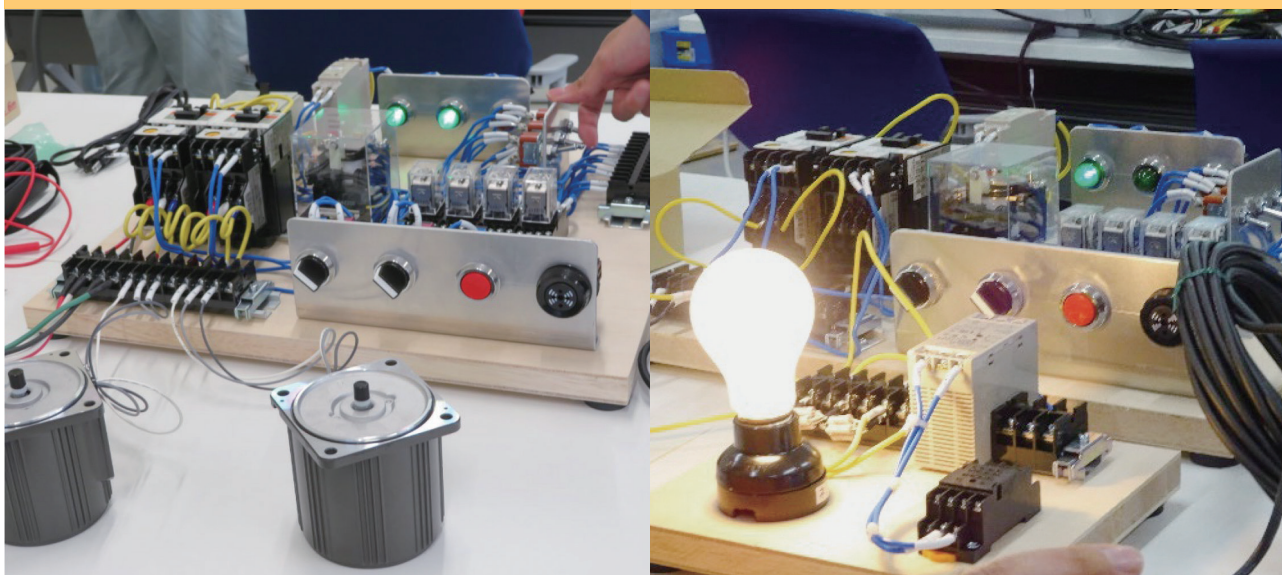
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9M207	10月12日(木)、13日(金)	9:30~16:30	12H	10名	7,500円
概要	故障対応・予防に向けた機械保全実習を通して、部品の損傷およびトラブルの原因を理解し、機械装置のトラブルを未然に防ぐための設備診断・保全に関する知識と技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機械保全の概要 2. 機械の主要構成要素 3. 伝動装置の保全実習 4. 締結部品の保全実習 5. 軸受部品の保全実習 6. 油圧機器の保全実習 7. 現場保全の問題解決 		 <p>[診断イメージ]</p>		
使用機器			持参品	筆記用具、作業服、安全靴	

受講者・
事業主の声

「教育するにあたり、新しい知識が身についた。」
 「ベアリングの予圧に対する知識があいまいだったため、詳しく知ることができてよかった。」
 「機械の腐食具合の判断材料となるため業務の改善につながる。」

電気・電子系

「現場の状況に合った安全なモーター制御がしたい」
 「システムを自動化にしたいけど PLC を活用したことがない」
 実習を通して制御設計・保守に欠かせない技術を知る・身につける・磨く



電気・電子系

電気・電子系のセミナー体系図

おすすめ受講セット

知る

身につける

磨く

シーケンス制御

現場のための電気保全技術 12
ページ

有接点シーケンス制御の実践技術 12
ページ

電動機制御のための有接点シーケンス制御 13
ページ

PLC 制御の回路技術 13,14
ページ

PLC によるタッチパネル活用技術※ 14
ページ

PLC によるインバータ制御技術※ 15
ページ

NEW PLC による FA ネットワーク構築技術 15
ページ

NEW FA センサ活用技術 16
ページ

※隔年実施コース（「PLC 制御の応用技術」、「実践的 PLC 制御技術」）はオーダーメイドセミナーでの実施が可能です！

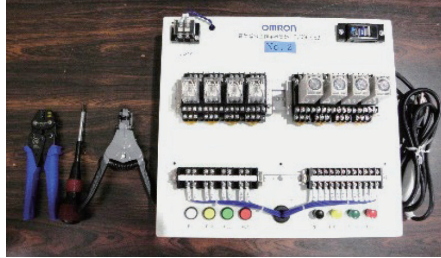
現場のための電気保全技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9D301	4月18日(火)、19日(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
9D302	5月23日(火)、24日(水)				
概要	電気設備保全の現場力強化及び技能継承をめざして、電気の基本技術や安全、測定機器の取り扱いを学んだ後、故障箇所の特定からその対処方法及び、作業の安全対策に関する技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気の基本技術 2. 電気災害概要と対応策 3. 生産設備のトラブルとその対策 4. 電気保全実習 5. まとめ 		 <p>[実習イメージ]</p>		
使用機器	実習盤、検電器、アナログテスター、絶縁抵抗計、リーククランプメータ、漏電遮断器体験装置、工具等		持参品	筆記用具	

受講者・
事業主の声

「わかっていなかったことが、理解できた。」
「リレー等の故障の見つけ方が特に参考になった。」

有接点シーケンス制御の実践技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9D303	5月16日(火)、17日(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
9D304	6月13日(火)、14日(水)				
概要	シーケンス制御設計の現場力の強化及び技能の継承ができる能力をめざして、技能の高度化及び故障対応・予防に向けた有接点シーケンス制御製作の実務能力を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種制御機器の種類と選定方法 2. 主回路と制御回路 3. 各種基本制御回路（タイマ回路含む） 4. 課題実習 		 <p>[実習装置]</p>		
使用機器	電磁リレー、タイマ、スイッチ、表示灯、工具等		持参品	筆記用具	

受講者・
事業主の声

「これまでの知識の確認にもなりましたし、シーケンスから実際の配線まで同時に学べたことによりとても分かりやすく有意義なセミナーでした。」
「実務で習得した内容が裏付けでき、布線表の使用方法を理解できた。」

電動機制御のための有接点シーケンス制御

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9D305	7月5日(水)、6日(木)	9:30~18:00	15H	10名	10,000円
9D306	8月8日(火)、9日(水)				
概要	シーケンス制御設計の生産性の向上をめざして、効率性、安全性に向けた電動機制御実習を通して、電動機制御の実務作業とその評価方法を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電動機の選定法 2. 連続運転回転 3. 正逆運転回路、時限運転回路 4. 電動機制御実習 5. 点検及び試運転、確認・評価 		 <p>[実習装置]</p>		
使用機器	三相誘導電動機、電磁接触器、リレー、スイッチ、表示灯、工具等		持参品	筆記用具	



担当者の声 「有接点シーケンス制御の実践技術」の次の段階のコースです。誘導電動機の様々な制御回路を配線し動作確認して覚えましょう！



「会社では指導、教育等がほぼなく、自分で学習する必要があるから学べてよかった。」
 「モータのシーケンスはよく扱うが、中身を理解できずにいたため大変わかりやすい説明で理解することができました。」
 「回路図を読み取り、配線をすることができるようになった。」

PLC制御の回路技術 (FX編)

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9D307	9月26日(火)、27日(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
9D308	11月14日(火)、15日(水)				
概要	シーケンス (PLC) 制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化 (改善)、安全性向上に向けたPLCに関する知識、回路の作成・変更法と実践的な生産設備設計実習を通して、自動化システムの設計・保守技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. PLCの運用 (PLCのハードウェア構成、ユニットの選定 他) 2. PLCの基本回路設計 (モニタリングとデバッグ運転 他) 3. PLCの総合課題実習 4. まとめ 		 <p>[実習装置]</p>		
使用機器	回路設計ツール (GX-Works2)、パソコン、PLC (FX3G)、制御対象装置、工具等		持参品	筆記用具	



担当者の声 「有接点シーケンス制御の実践技術」の次の段階のコースです。PLCのプログラム作成方法、モニタによる動作確認方法等を覚えましょう！



「PLCの操作を一から知ることができた。」
 「就業中ではなかなかこれだけのことを教えていただける時間がとても取れないため、有意義でした。」

NEW

PLC制御の回路技術 (IQ-R編)

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9D309	10月31日(火)、11月1日(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
概要	シーケンス (PLC) 制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化 (改善)、安全性向上に向けたPLCに関する知識、回路の作成・変更法と実践的な生産設備設計実習を通して、自動化システムの設計・保守技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. PLCの運用 (PLCのハードウェア構成、ユニットの選定 他) 2. PLCの基本回路設計 (モニタリングとデバッグ運転 他) 3. PLCの設計総合課題実習 4. まとめ 				
使用機器	回路設計ツール (GX-Works2)、パソコン、PLC (iQ-R)、制御対象装置、工具等	持参品	筆記用具		

担当者の声

「有接点シーケンス制御の実践技術」の次の段階のコースです。
PLCのプログラム作成方法、モニタによる動作確認方法等を覚えましょう!



[実習装置]

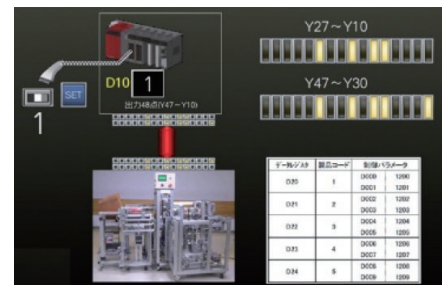
電気・電子系

PLCによるタッチパネル活用技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9D310	11月7日(火)、8日(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
概要	シーケンス (PLC) 制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、最適化 (改善) に向けたタッチパネル活用によるFAライン管理実習を通して、タッチパネルを活用したFAライン管理技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. タッチパネルの概要 2. タッチパネルの画面設計 3. タッチパネルを活用したFAライン管理実習 4. まとめ 				
使用機器	タッチパネル (GOT2000)、PLC (FX3G)、回路設計ツール (GX-Works2)、画面作成ツール (GT-Works3)、工具等	持参品	筆記用具		

担当者の声

「PLC制御の回路技術」の次の段階のコースです。
各種ウィンドウ作成方法、グラフやコメント表示等を覚えましょう!

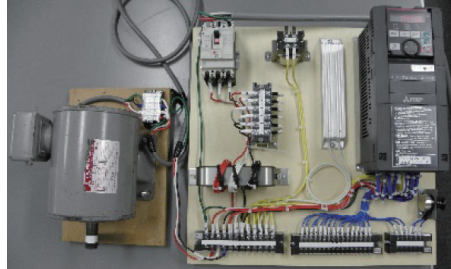


[画面作成例]

受講者・事業主の声

「今まで触れてこなかった分野であるため、今後の業務に必要な知識が得られた。」
「新規導入設備はタッチパネルが多く使われているので、今後の業務で大変役に立つ。」

PLCによるインバータ制御技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9D311	11月28日(火)、29日(水)	9:30~16:30	12H	8名	10,500円
概要	シーケンス (PLC) 制御技術の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化 (改善)、安全性向上に向けた各種設定や配線実習およびインバータ制御実習を通して、PLCを用いたインバータ制御の実務を習得する。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. インバータ概要 2. PLCプログラミング 3. インバータ制御実習 4. まとめ 		 <p>[実習装置]</p>		
使用機器	汎用インバータ (FREQROL-A800)、三相誘導電動機、PLC (FX3G)、回路設計ツール (GX-Works2)、工具等		持参品	筆記用具	



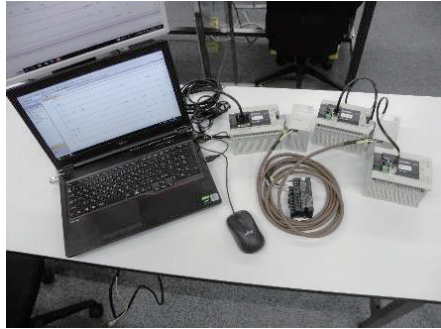
担当者の声 「有接点シーケンス制御の実践技術」の次の段階のコースです。誘導電動機のような制御回路を配線し動作確認して覚えましょう！



「普段の業務でPLCやインバータをよく使うため、いろいろな話を聞けてよかった。」
「設計するうえで、インバータやPLCについて中身を学ぶ機会がなかったため、大変有意義な2日間でした。」

NEW

PLCによるFAネットワーク構築技術

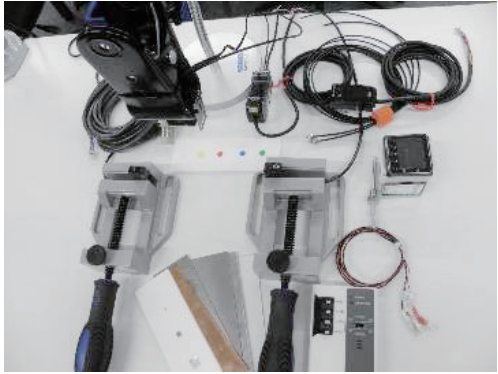
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9D312	12月5日(火)、6日(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
概要	シーケンス (PLC) 制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化 (改善) に向けたネットワーク構築実習を通して、PLCのコントローラ系ネットワーク、フィールド系ネットワークならびに複合ネットワークの構築技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. フィールド系ネットワークの概要 2. フィールド系ネットワーク (簡易PLC間リンク、並列リンク、計算機リンク) 3. コントローラ系ネットワーク (CC-Link、Ethernet接続) 4. ネットワーク構築実習 5. まとめ 		 <p>[実習装置]</p>		
使用機器	回路設計ツール (GX-Works2)、パソコン、PLC (FX3G、iQ-R)、FX3G-485-BD-RJ、FX3G-232-BD、FX3U-16CCL-M、FX3U-64CCL、制御対象装置、工具等		持参品	筆記用具	



担当者の声 「PLC制御の回路技術」の次の段階のコースです。フィールド系ネットワークとコントローラ系ネットワークの方法を覚えましょう！

NEW

FAセンサ活用技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9D313	1月16日(火)、17日(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
概要	生産設備設計の現場力強化をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けたセンサの適用設計、活用実習を通して、FAセンサの活用技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. センサの特性 2. 目的に応じたセンサの選定 (マイクロスイッチ、光電センサ、ファイバセンサ、レーザセンサ、近接センサ、温度センサ) 3. 生産設備へのセンサの適用例 4. センサ活用実習 5. まとめ 		 <p>[実習装置]</p>		
	 <p>担当者の声 「有接点シーケンス制御の実践技術」の次の段階のコースです。光電センサ、レーザセンサ、近接センサ等を配線し動作確認して覚えましょう！</p>				
使用機器	各種センサスイッチ、測定器、工具等		持参品	筆記用具	

居住系



「提案や営業に活用できる CAD の使い方を学びたい」
 「デジタル化にしたいけど指導方法がわからない」
 建築設計・プレゼンに今求められる技術を 知る・身につける・磨く



居住系

居住系のセミナー体系図

おすすめ受講セット

知る

身につける

磨く

建築設計

〈建築基準法編〉
木造住宅における壁量計算技術 18 ページ

〈住宅性能表示制度・構造の安定編〉
木造住宅の構造安定性能設計技術 18 ページ

〈最新省エネ基準に対応〉
省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画実践技術 19 ページ

〈JWCADによる〉実践建築設計
2次元CAD技術(住宅図面作成編) 19 ページ

〈JWCADによる〉実践建築設計
2次元CAD技術(建設図面作成編) 20 ページ

NEW 〈AutoCADによる〉実践建築設計
2次元CAD技術(建設図面作成編) 20 ページ


〈マイホームデザイナーによる〉実践建築設計
3次元CAD技術(住宅デザイン編) 21 ページ

〈ARCHITRENDによる〉実践建築設計
3次元CAD技術(住宅プランニング編) 21 ページ

〈ARCHITRENDによる〉実践建築設計
3次元CAD技術(申請図面作成編) 22 ページ

〈BIM建築設計システムGLOOBEによる〉
BIMを用いた建築生産設計技術 22 ページ

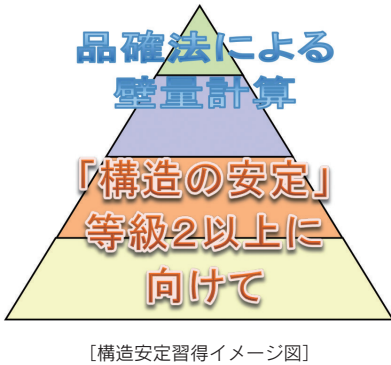
〈建築基準法編〉木造住宅における壁量計算技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9H401	6月7日(水)、8日(木)	9:30~16:30	12H	15名	6,500円
概要	木質構造設計について理解を深め、壁量計算実習を通して効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた設計の手順と構造計画に関する構造技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 木造住宅の設計とは 2. 壁量設計とは（地震力・風圧力） 3. 演習（壁量計算） 4. 耐力壁のバランス検定 5. 演習（四分割法） 6. 接合部の設計（基準法） 7. 水平構面の役割とその重要性 8. まとめ <p>※ 一人で学べる木造の壁量設計演習帳（一般財団法人 日本建築センター）を持参ください。詳しくはお問い合わせください。</p> <div style="text-align: right;">  </div>				
使用機器	電卓	持参品	筆記用具、使用テキスト：一人で学べる木造の壁量設計演習帳（一般財団法人 日本建築センター）		



「実際のプラン上で困ったときはどうしたらよいかなどの、実践的な内容が参考になりました。」
 「会社ではなかなか教えてもらえない内容だった。」 「今までなんとなくやっていたことが、知識として結びついた。」

〈住宅性能表示制度 構造の安定編〉 木造住宅の構造安定性能設計技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9H402	7月5日(水)、6日(木)	9:30~16:30	12H	15名	6,500円
概要	効率化や安全性に向けた木造住宅のための性能表示制度に対応した演習課題を通して、住宅の構造安定性を確保した構造計画・設計・計算ができる技能・技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 木造住宅の住宅性能表示の概要 2. 性能表示による壁量計算（必要壁量） 3. 準耐力壁について 4. 性能表示による壁量計算（存在壁量） 5. 水平構面の検討（必要床倍率、存在床倍率、耐力壁線） 6. 横架材接合部の確認 7. 伏図・断面検討 8. まとめ <p>※ 一人で学べる木造の壁量設計演習帳（一般財団法人 日本建築センター）を持参ください。詳しくはお問い合わせください。</p> <div style="text-align: right;">  </div>				
使用機器	電卓	持参品	筆記用具、使用テキスト：一人で学べる木造の壁量設計演習帳（一般財団法人 日本建築センター）		



「日常業務では得られない知識が身についた。」
 「プランを作成する際に、構造のことまで考え、安全な家づくりに役立てたい。」

〈最新省エネ基準に対応〉省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画実践技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9H403	9月13日(水)、14日(木)	9:30~16:30	12H	15名	7,000円
概要	最適化（改善）に向けた低炭素建築物の新築計画を通して建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準を理解し建築計画手法を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建築物省エネ法の概要 2. 住宅の省エネ基準と計算方法 3. 長期優良住宅、低炭素建築物について 4. 外皮平均熱貫流率UA、平均日射熱習得率ηAの計算（演習） 5. エクセルシートによる外皮平均熱貫流率、平均日射熱習得率の確認 6. 一次エネルギー消費量基準について 7. 計算プログラムによる演習 8. まとめ 				
使用機器	パソコン、電卓	持参品	筆記用具		

省エネ基準



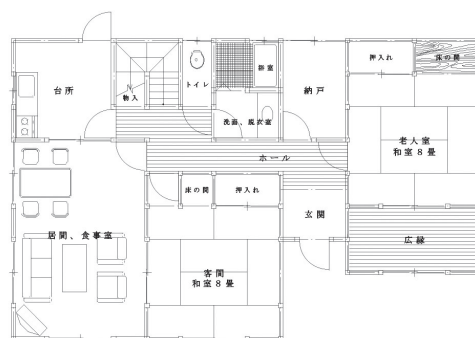
〔省エネルギー住宅イメージ〕
出典：建築物省エネ法のページ（国土交通省）

受講者・事業主の声

「検査上、不得意分野の理解ができた。」
「省エネ計算の新しい基準を知ることができ計算を習得することができた。」

〈JWCADによる〉実践建築設計2次元CAD技術（住宅図面作成編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9H404	4月26日(水)、27日(木)	9:30~16:30	12H	10名	7,500円
概要	建築図面の効率化を図るため2次元CADによる図面作成の実習を行い、住宅図面に関する知識、作成技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. CADの概要 2. 建築図面作成におけるCADシステムの役割 3. 図面作成の準備及び各種設定 4. 図面作成、修正 5. 木造住宅平面図演習課題の作成 6. 図面の印刷 7. まとめ <p>※ パソコンの基本操作ができる方が対象となります。</p>				
使用機器	パソコン、2次元CADソフト（Jw_cad）	持参品	筆記用具		



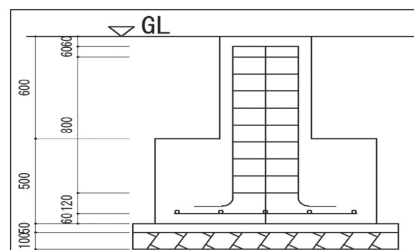
〔課題イメージ〕

受講者・事業主の声

「実践を通して指導いただいたので、すぐ現場に活かせる内容でありがたかったです。」
「これからCAD業務を始めるので使用方法が習得できてよかった。」
「図面を描く速さが生産性向上につながっている。」「資料がとてもわかりやすく、見返す時も見やすかった。」

〈JWCADによる〉実践建築設計2次元CAD技術（建設図面作成編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9H405	10月4日(水)、5日(木)	9:30~16:30	12H	10名	7,500円
概要	実践的な建設業関連図面作成業務の効率化をめざして、2次元CADによる図面作成の実習を行い、建設業関連図面に関する作成技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. CADの概要 2. 建設業関連図面作成におけるCADシステムの役割 3. 図面作成の準備及び各種設定 4. 側溝関連の図面作成、修正 5. 基礎伏図・詳細図等演習課題図面の作成 6. レイヤを利用した効果的な図面管理 7. まとめ <p>※ パソコンの基本操作ができる方が対象となります。</p>				
使用機器	パソコン、2次元CADソフト (Jw_cad)	持参品	筆記用具		



〔課題イメージ〕

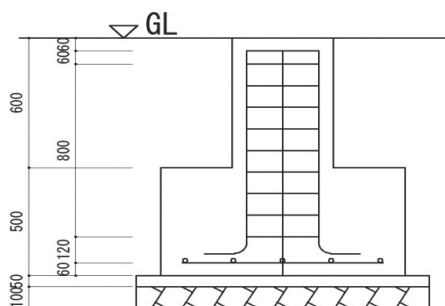


「今まで使っていなかったコマンドの使い方を知りました。そのことでこれからの作業効率が上がると思います。」
 「これからはじめる業務に必要な基本知識を学べて、今後役立てていけそうです。」

NEW

〈AutoCADによる〉実践建築設計2次元CAD技術（建設図面作成編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9H406	11月8日(水)、9日(木)	9:30~16:30	12H	10名	7,500円
概要	実践的な建設業関連図面作成業務の効率化をめざして、2次元CADによる図面作成の実習を行い、建設業関連図面に関する作成技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. CAD (AutoCAD 2023) の概要 2. 建設業関連図面作成におけるCADシステムの役割 3. 図面作成の準備及び各種設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ AutoCADテンプレート作成・各種設定 4. 側溝関連の図面作成、修正 <ul style="list-style-type: none"> ・ AutoCADの基本コマンド、レイヤー操作、ブロック 5. 基礎伏図・詳細図等演習課題図面の作成 6. 効果的な図面管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ オブジェクトプロパティ管理、デザインセンターの活用 7. まとめ <p>※ パソコンの基本操作ができる方が対象となります。</p>				
使用機器	パソコン、2次元CADソフト (AutoCAD 2023)	持参品	筆記用具		



〔課題イメージ〕



担当者の声

AutoCAD と Jw_cad のコマンドを比較してご説明します。
 これから AutoCAD を始める方に最適なコースです。

〈マイホームデザイナーによる〉実践建築設計3次元CAD技術（住宅デザイン編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9H407	7月26日(水)、27日(木)	9:30~16:30	12H	10名	7,500円
概要	<p>・住宅・建築プレゼンテーションにおいて、より効率的かつ効果的に設計意図を表現するための技術を習得します。</p> <p>・2次元CADデータ（Jw_cad）を利用して敷地や複雑な屋根を作成する技術を習得します。</p>				
コース内容	<p>1. 3DCAD（マイホームデザイナーPro9）に関する知識</p> <p>2. 基本操作 （敷地、部屋のレイアウト、壁の編集、柱・梁の配置、建具の配置、家具の配置）</p> <p>3. 立体イメージ化 （間取りの立体化、外装・内装の仕上げ変更）</p> <p>4. 各種屋根の作成（Jw_cadデータの活用）</p> <p>5. 課題演習</p>				
使用機器	パソコン、3次元CADソフト（マイホームデザイナー）、Jw_cad	持参品	筆記用具		



〔課題イメージ〕



「自己流でつまづいていたところが理解できました。」
 「今まで出来なかったことが出来るようになった。」
 「今まではJWや手書きパースでのプレゼンだったが、取り入れて実践していきたいと思った。」

〈ARCHITRENDによる〉実践建築設計3次元CAD技術（住宅プランニング編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9H408	5月24日(水)、25日(木)	9:30~16:30	12H	15名	10,500円
概要	<p>建築設計の新たな品質の創造をめざして、施主に対する提案を可視化する3次元CADを用いた意匠設計、プレゼンテーション用データ作成に関する技術を習得します。</p>				
コース内容	<p>1. 3次元CADの概要</p> <p>2. プランニング</p> <p>3. 3次元モデル作成1（部屋、柱、建具、階段など）</p> <p>4. 3次元モデル作成2（敷地、道路、外構など）</p> <p>5. コンポーネント（部品）の配置と編集</p> <p>6. 3次元モデリング及びプレゼンテーション用データ作成</p> <p>7. まとめ</p> <p>※ パソコンの基本操作ができる方が対象となります。</p>				
使用機器	パソコン、3次元CADソフト（ARCHITREND）	持参品	筆記用具		



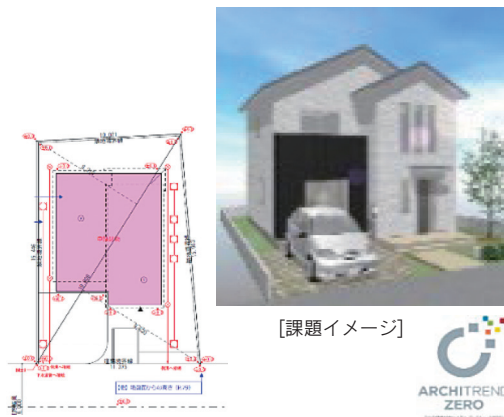
〔完成イメージ〕



「機能や連動性がよく理解できた。」
 「実務で使えるような知識・技術を習得できた。」
 「効率的なCAD操作を学ぶことができた。また、提案時の品質向上となる知識を得ることができた。」

〈ARCHITRENDによる〉実践建築設計3次元CAD技術（申請図面作成編）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9H409	8月2日(水)、3日(木)	9:30~16:30	12H	15名	10,500円
概要	建築設計の新たな品質の創造をめざして、計画段階におけるモデリングの作成を通して高付加価値化に向けた3次元CADを用いた意匠設計、壁量計算、申請関連の図面作成、省エネ住宅に向けた外皮計算の方法を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3次元CADの概要 2. モデルプランの図面の作成 3. 壁量計算（建築基準法）によるプランの確認 4. 壁量計算（住宅の性能表示）によるプランの確認 5. 省エネ住宅に向けた外皮計算 6. 各種申請図面の作成 7. 住宅性能表示関連図面 8. まとめ <p>※ パソコンの基本操作ができる方が対象となります。</p>				
使用機器	パソコン、3次元CADソフト（ARCHITREND）	持参品	筆記用具		



[課題イメージ]



「CADと聞くとハードルの高いイメージしかなかったのですが、講師の方もわかりやすく教えてくださったことで、まずはそのイメージがなくなりました。」
 「すぐにでも実業務に必要な知識であったため、大変役に立ちました。」
 「外皮性能計算や壁量計算のしくみがより理解できた。」

〈BIM建築設計システムGLOOBEによる〉BIMを用いた建築生産設計技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
9H410	10月25日(水)、26日(木)	9:30~16:30	12H	15名	10,500円
概要	施工計画／施工管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた生産設計実習を通して、生産計画・設計と生産管理に関する技術を習得します。				
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. BIMシステムの概要と活用方法 2. 与条件の確認 3. 基本計画に基づいた各種図面の作成・編集方法 4. 建築基準法に沿った法規チェック 5. 3Dモデルの作成 6. プレゼンテーション機能・データ連携機能 7. まとめ <p>※ パソコンの基本操作ができる方が対象となります。</p>				
使用機器	パソコン、BIMシステム建築設計システム（GLOOBE）	持参品	筆記用具		



GLOOBE
Japanese Building Information Modeling CAD System

[作成例]



「マニュアルを参考に何度か操作したことがあるが、今回の講習で基本操作に関する知識をより深めることができた。」
 「顧客への説明及びプロモーションに活用できる。」

受講企業様に聞く！利用してどうでしたか？

令和4年度「各種の溶接施工技術」などを利用された
新光産業株式会社 取締役事業部長 金子 博司 様

金属系

我が社では、力量を高めるための基礎的な教育にやや時間を割けないことが課題です。そこで、若年層を中心に、知識向上、そして教育を受ける目的意識を持つ自覚を高める目的で能力開発セミナーを利用しました。

セミナー受講後、受講者本人に自信が付き、向上心をもって職務にあたっている様子を見ると、セミナーの有効性を感じています。また、今回参加していない社員からも、私もセミナーに参加したいと、意欲的な発言が出てきています。

今後も、若年層を中心とした溶接技術並びに旋盤加工技術の向上と、中間層にも、知識の再確認のために、セミナーを活用していきたいと考えています。



機械系

令和4年度「2次元 CAD による機械製図技術」などを利用された
丸ステンレス鋼管株式会社 設備グループ長 梶野 弘樹 様



我が社は、若年層及び配転者に対する基礎知識・技能の習得が課題です。そこで、以前からポリテクセンターの能力開発セミナーを利用し、社員や部下のスキルアップを図ってきました。

セミナーを受講することで、組織としての力量を底上げすることができますし、その内容は普段の業務にも活用できます。また、セミナーを受講し、知識や技能を習得することで自信が持て、新たな作業でも意欲を出して取り組めるようになっていきます。

今後ともセミナーを利用し、自信を持ってもらうことで楽しく業務をして欲しいと思っています。

令和4年度「電動機制御のための有接点シーケンス制御」などを利用された
大海電機株式会社 代表取締役 田中 康一 様

電気・電子系

現在、我が社では、PLC制御盤の製造、設計、シーケンスプログラムなどの受注が増えてきており、それを自社施工で賄いたいとの思いから、社員のスキルアップと技術向上のため、社員に能力開発セミナーを受講させました。

セミナーを受講したことによって、受講した本人が、学んだことを活かしてチャレンジできるようになりましたし、同僚や後輩と共通の話題ができ、お互いに頑張ろうという気持ちを持てるようになりました。

今後もセミナーを活用して、経験の浅い技術者が、現場とは違う体験を通して、技術と意識の向上につなげたいと思います。



居住系

令和4年度「実践建築設計3次元 CAD 技術」などを利用された
工房なごみ 代表 山本 和徳 様



今回、受講した後藤さんはセミナーを受講したことで、建築やCADの知識を深め、現在の業務に役立てていると感じています。例えば、図面を書く時、わからないことを本人が自ら調べて作業することが増えまし、お客様や業者との打ち合わせでも、スムーズに話が進むようになりました。

今後も、従業員の能力を高める為、そして専門家の話を聞き、技術を教わる為にセミナーを活用していきたいと思っています。

実際に受講していただいた方の感想を含む「受講者の声」をホームページに掲載しております。
ぜひチェックしてください！

ACCESS!



“ オーダーメイドセミナーのご案内 ”

ポリテクセンター山口では、本誌に掲載しているコースのほか、企業や事業主団体の皆様のご要望(セミナー内容・日程・時間帯)に応じてカスタマイズできる「オーダーメイド」セミナーを設定できます!



知っちよる? ①

受講したいけど、平日の日中は忙しくて時間が取れない!



「終業後にやりたい(夜間)」「週1回、隔週でやりたい」「午後だけ」「土日」など、自由に実施日程を設定できます!

知っちよる? ②

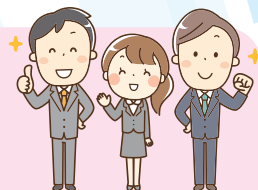
うちの業界で使ってる機材・技術に特化して研修できないかな?

自社の業界事情、従業員のスキルに合わせたセミナー内容のご相談にのります!



知っちよる? ③

山口市まで行くには遠くて負担になるなあ...



自社内会議室や自社近隣の研修室をご用意いただければ、講師が出張セミナーをします!(遠方の企業・事業主団体様におすすめです!)

まずはお気軽にご相談ください!

TEL 083-922-2143

メール yamaguchi-poly02@jeed.go.jp



※受講者数は、原則として5名様以上から承ります(事業主団体、関連会社との合同実施OK!)。
※1コースの設定は12時間以上からとなります。

令和3・4年度 能力開発セミナー受講企業一覧※(R3.12月~R4.11月末現在)

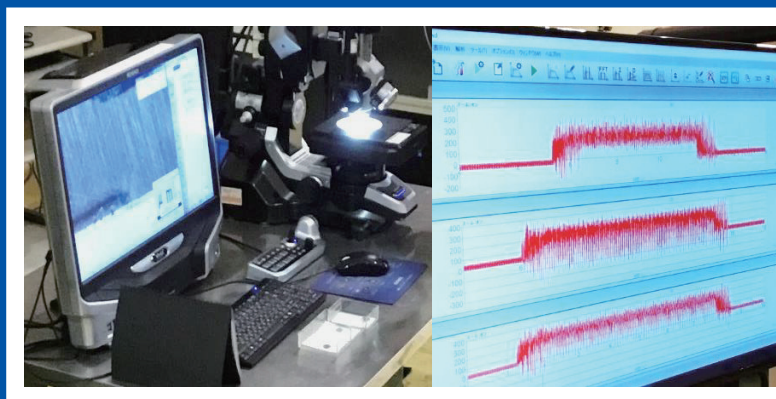
秋穂産業株式会社	株式会社 J R西日本テクノス下関支店	有限会社福栄電機工
株式会社 I. D. Works	株式会社清水電業社	株式会社藤井電業社
株式会社アクア設備	下関日軽株式会社	株式会社富士企業
旭酒造株式会社	株式会社樹工房	株式会社藤本工務店
アルマティス株式会社	白井興業株式会社	株式会社本田工務店
アルメタックス株式会社山口工場	眞工金属株式会社平生工場	前村電気工事株式会社
石川商事株式会社	新光産業株式会社	株式会社松田鉄工所
石山電気株式会社	株式会社伸和精工	丸ーステンレス鋼管株式会社
茨木塗料株式会社柳井工場	末富板金工業	マルタ産業株式会社
株式会社インスパイア	株式会社 T A I Y O	株式会社丸山興業
株式会社植本工務店	高山産業株式会社	株式会社みうら
英工建設株式会社	中國電設工業株式会社	三國重工業株式会社山口工場
大海電機株式会社	中電プラント株式会社中部火力支社	山一電設株式会社
有限会社オカムラ環境技研	株式会社ディーエープランニング	山県精巧株式会社
有限会社和建築設計事務所	株式会社トピア	株式会社山金工業
株式会社カネイ	中川拓工有限会社	山口県環境整備事業協同組合
有限会社河三鉄工所	株式会社中村鉄工所	一般社団法人山口県建設業協会
工房なごみ	日生電機株式会社	ヤマダ建設工業
株式会社サンテクノス	株式会社パスココーポレーション	山根建築株式会社
山陽鋼機建設株式会社	日立建設株式会社	横浜機工テクノ株式会社
		株式会社和田材木店

ご利用いただきありがとうございます!

(五十音順・敬称略)
※掲載にご了承いただいた企業のみ

さらなるスキルアップを 目指すなら

高度 ポリテク センター



実習例) 切削条件を変えながら、加工中の工具への負荷を測定し、摩耗を観察することで、加工の見える化を行います。

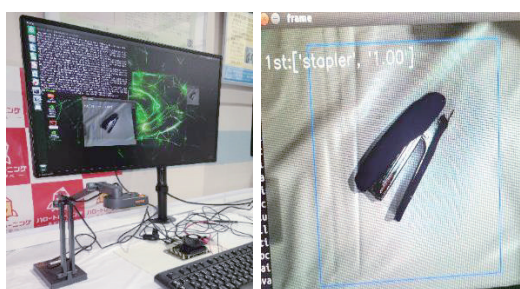
- ◆年間約700コースの豊富なカリキュラム
- ◆経験豊富な講師陣による実践的な研修内容

社員教育の一環として
ご利用ください!

人気コースの一例

詳しくは、公式サイトまたは当センターのコースガイドをご覧ください

- 金属材料の腐食対策
- プレス順送金型設計の要点
- 高能率・高精度穴加工技術
- AI・画像処理技術〈集中育成コース〉
- ロボットシステム設計技術



実習例) 独自のデータを用いた画像分離のAI (モデル) を作成します。

お問合せ先

043-296-2582 (事業課)

所在地

〒261-0014

千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

E-mail

kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト



Twitter



YouTube

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。

全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練 3つのポイント

1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

- ・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全128コース('22.12月現在）

2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

- ・自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
- ・実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）
- ※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています



3 受講しやすい料金設定！

- ・受講料は1人あたり2,200円～6,600円（税込）
- ・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能

全国実績

（累計）

受講者数 179,947人

利用した企業数 60,384社

受講者評価
（業務への役立ち度）

98.2%

※'17～'22.9月末まで

訓練受講までの流れ（オーダーコースの場合）

課題や方策の整理

・センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースの
コーディネーター

・相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・テレワークを導入して業務を効率化したい。

分野・コース
生産管理、流通・物流、バックオフィス など
・生産現場の問題解決 ・RPA活用
・テレワークを活用した業務効率化 など

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

分野・コース
リスクマネジメント、組織力強化、生涯キャリア形成 など
・成果を上げる業務改善 ・リスクマネジメントによる損失防止対策
・作業手順の作成によるノウハウの継承 など

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

分野・コース
営業・販売、マーケティング、プロモーション など
・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
・提案型営業手法 ・提案型営業実践 など

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい。
- ・集客につながるHPを作成したい。

分野・コース
ネットワーク、データ活用、情報発信 など
・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
・集客につなげるホームページ作成 など

訓練受講

・所定の期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

まずは、お気軽に生産性向上人材育成支援センターまでご相談ください！



TEL : 083-922-1958

F A X : 083-932-1583

MAIL : yamaguchi-seisan@jeed.go.jp

ポリテクセンター山口



各種サービスのご案内

当センターでは、「能力開発セミナー」の他にも「貴社の人材育成・人材確保」に関するサービスを行なっております。

①助成金のご紹介

〈人材開発支援助成金〉

◇企業内で人材育成に取り組む事業主の皆さま

◇傘下の事業主が雇用する労働者に訓練を実施する事業主団体の皆さま

従業員が能力開発セミナーや生産性向上支援訓練を受講した事業主の方は、「人材開発支援助成金」を活用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。

〈雇用調整助成金〉

◇雇用調整（教育訓練）を実施することによって、従業員の雇用を維持した事業主の皆さま

経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた場合、一時的な雇用調整（休業、教育訓練または出向）を実施することによって、従業員の雇用を維持した場合に助成されます。

能力開発セミナーの受講条件によって「雇用調整助成金」の教育訓練に当てはまる場合があります。

受給対象となるには一定の条件がありますので、詳しくは、以下のホームページをご確認ください。

◆人材開発支援助成金のご案内（厚生労働省ホームページ）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html/

◆雇用調整助成金（厚生労働省ホームページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07.html

または、山口労働局にご相談下さい。

【山口労働局 職業安定部職業対策課 助成金担当】（☎ 083-995-0383）



②施設・設備利用

事業主等の皆様が自ら行う社員研修の場として、教室などの施設及び実習場の設備・機器などの貸出をしています。利用のお申込みは、ご希望される日程の2か月前からとなります。

キャンセルは1週間前までにご連絡ください。期限までにご連絡がない場合、キャンセルは認められず、使用料金をいただくこととなりますのでご注意ください。

（建物、付属設備、器具等を破損又は滅失した場合は、その損害を賠償していただきます。）

◆「施設設備等の利用」（ポリテクセンター山口ホームページ）

<https://www3.jeed.go.jp/yamaguchi/poly/biz/shiseturiyou.html>



③職業訓練受講生の求職者（求人）情報の提供

当センターでは、6か月の職業訓練を受講して再就職をめざしている受講生の「公開求職情報」（自己PR（アピールポイント）、免許・資格等を記載）を提供しています。「公開求職情報」は、希望された企業様へ郵送と併せて、当センターのホームページにも掲載しております。

採用をお考えの際には「公開求職情報」をご活用いただき、ものづくりの職業訓練を受講した人材の採用については是非ご検討ください。

お問い合わせ ポリテクセンター山口 訓練課 就職支援担当（☎ 083-922-1999）

④従業員の人材育成に関するご相談

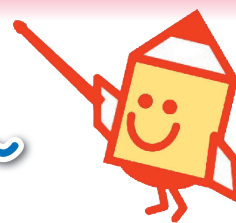
計画的な人材育成を実施したい事業主・事業主団体の皆さまのご相談を承ります。

●教材、教育訓練計画、カリキュラム、指導方法の情報提供



申込方法

～お申し込みから受講まで～



ホームページや、当パンフレットの30ページにある「能力開発セミナー受講申込書」に必要事項を記入のうえ、メールにてお申し込みください。

(令和5年度から、FAXでのお申し込みは原則中止しました。)

締め切りは、**原則開講日の16日前**です。

また、ホームページで現在のセミナーの受付状況を確認できます。

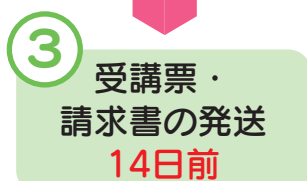
(受付中・受付終了)

メール：yamaguchi-poly02@jeed.go.jp

HP：<https://www3.jeed.go.jp/yamaguchi/poly/zaishoku/index.html>

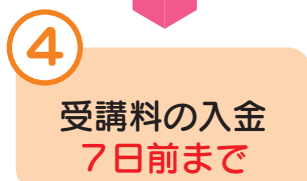


お申じいただいたメールの返信にて、申込書受領の確認連絡を送信いたします。
キャンセル待ちで受付となった場合、受講可能になった時点でご連絡いたします。



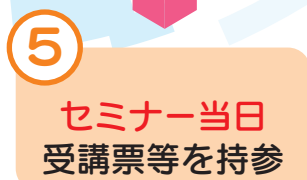
開講日の16日前に申込を締め切り、開講の決定を行います。

開講日の14日前には「受講票」と「請求書」を発送いたします。



開講日の7日前までに、請求書明記の銀行口座あてお振り込みください。

- ・振込み手数料は申込者負担
- ・受講料は消費税込
- ・現金でのお支払い不可



セミナー当日は、受講票の他、受講票・パンフレット・ホームページに記載の持参品をご用意のうえ、直接、開催場所にお越しください。

なお、当センター本館1階正面玄関の掲示板にて、会場をご案内します。

アンケート調査のお願い

全てのコースについて、受講者及び事業主の方に対し、コース内容に関するアンケートへの回答をお願いしています。また、一部のコースについては、コース内容の活用状況等についても同様をお願いしております。



申込・受講Q&A



Q 業務の都合で受講できなくなりました。申込コースをキャンセルできますか？

A セミナー開講**7日前**（土日祝日にあたる場合はその前日）までに、「受講者の変更・キャンセル届」※とお電話やメールにてお知らせください。それ以降の取消またはご連絡が取れない場合は、受講料をご負担いただきます。

Q 受講者の変更はできますか？

A 一度申し込んだ方と別の受講者に変更したい場合は、「受講者の変更・キャンセル届」※をお送りください。

Q 申込したコースが中止・日程変更になることはありますか？

A やむを得ず中止・変更させていただく場合があります。
受講料納入後、コースが中止になった場合、受講料は返金いたします。（振込手数料を除く）
・受講申込が一定の人数に達していない場合
・自然災害等の諸事情

Q 受講する際の服装は？

A 特に決まりはございません。ただし、旋盤、フライス盤、溶接関係のセミナーなど「持参品」欄や「備考」欄に作業服等の指定がある場合は、ご確認のうえ持参願います。

Q コースの受講証明などはありますか？

A 2日間（総訓練時間が12時間）のコースは100%、3日間以上のコースは総訓練時間の80%以上の出席で、修了証書を交付します。
人材開発支援助成金、雇用調整助成金など、助成金申請のための受講証明書類については、訓練課セミナー担当までお問い合わせください。

Q 申し込みたいコースが定員に達しているけど…

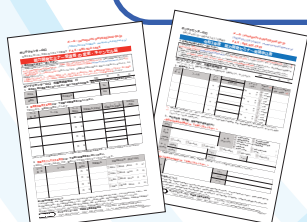
A キャンセル待ちとして受け付けます。欠員が発生次第キャンセル待ちの方に順次電話等にてご案内します。

Q セミナー会場へはどう行けばいいですか？

A 本館正面入り口の掲示板で会場を確認し、直接教室へお越しください。
受講票に印字された教室から変更になる場合があります。ご了承ください。

Q コースの詳しい概要について聞けませんか？

A まずは、ホームページや当パンフレットをご覧ください。更に詳しい内容についてご質問がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
TEL：083-922-2143
メール：yamaguchi-poly02@jeed.go.jp



※「受講申込書」「受講者の変更・キャンセル届」（ポリテクセンター山口ホームページ）データダウンロードはこちら→



令和5年度 能力開発セミナー受講申込書

※ お申込みの前に必ずご一読ください。

- お申し込みは、原則コース開始日の16日前までとし、本紙に必要事項をご記入のうえ、メール (yamaguchi-poly02@jeed.go.jp) にてお送りください。また、コース開始日の14日前に「受講票」、「受講料請求書」等をお送りします。
- 受講料金は「受講料請求書」がお手元に届きましたら、コース開始日の原則7日前までに指定口座へお振込みください。振込手数料はご負担願います。また、コース開始日7日前(土日・祝日含む)を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。
- 「受講者を変更する場合」や「受講をキャンセルする場合」には、別紙の「受講者変更・キャンセル届」をメールにてお送りください。
- 応募者が少ない場合は、コースを中止させていただく場合があります。また、やむを得ず日程を変更する場合がありますので予めご了承ください。その場合、事前にご連絡いたします。
- コース開始日以降の入金はお断りしています。諸事情により、やむを得ず入金が遅れる場合は、お早めに相談をお願いいたします。
- 会社からお申込みされた場合には、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)に受講後約3か月後にアンケートを送付いたしますので、調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

ポリテクセンター山口 訓練課 セミナー担当 行

令和 年 月 日

次のコースについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認のうえ、申し込みます。

1. 受講申込コース

コース番号	コース名	コース開始日	ふりがな	生年月日 (西暦)	就業状況 ※1 (該当に☑印)	申込コースに関連する 経験・技能等 ※2
			受講者氏名			
		月 日		西暦 年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規職員 <input type="checkbox"/> 3. その他	
		月 日		西暦 年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規職員 <input type="checkbox"/> 3. その他	
		月 日		西暦 年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規職員 <input type="checkbox"/> 3. その他	
		月 日		西暦 年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規職員 <input type="checkbox"/> 3. その他	

※1 就業状況の「非正規雇用」とは、一般にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

※2 コースを受講いただくうえでの参考のため、お申込みされたコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください(記入例: 切削加工5年)。

2. 申込担当者(受講票、受講料請求書等送付先)

〈会社からお申込みの場合には、下記欄にご記入ください。〉

会社名	〒 -		業種 (該当に☑印)	<input type="checkbox"/> 金属製品製造業	<input type="checkbox"/> 非金属製品製造業
会社所在地				<input type="checkbox"/> 機械器具製造業	<input type="checkbox"/> 電気機械器具製造業
企業規模 (該当に☑印)	<input type="checkbox"/> 1～29人 <input type="checkbox"/> 30～99人 <input type="checkbox"/> 100～299人 <input type="checkbox"/> 300～499人 <input type="checkbox"/> 500～999人 <input type="checkbox"/> 1000人以上			<input type="checkbox"/> 電子部品・デバイス・電子回路製造業	
申込担当者名	所属部署	TEL	FAX	<input type="checkbox"/> その他の製造業 ()	<input type="checkbox"/> 情報通信業 <input type="checkbox"/> 建設・設備工事業
	担当者名	メール		<input type="checkbox"/> 卸売業・小売業	<input type="checkbox"/> その他 ()

※3 受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。

〈個人でお申込みの場合には、下記欄にご記入ください。〉

住所	〒 -	TEL	
		FAX	
		メール	

個人情報取扱いについて

- (1) 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- (2) ご記入いただいた個人情報については、在職者訓練の受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発業務に関する案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。会社からお申込みの場合は、申込担当者様あてに送付いたします。

アクセスマップ



ポリテクセンター山口

